

第12回再処理・リサイクル部会セミナーのご案内

テーマ 『核燃料サイクルの着実な取り組み』

主 催 日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

開催趣旨

国内に資源が乏しい我が国において、国内で得られる資源を効率的に最大限獲得・活用することは、エネルギー安定供給やエネルギー安全保障上、大変意義があり、この観点から、核燃料サイクルにより得られるプルトニウム・ウランを有効利用することは重要である。一方で、平成23年に発生した東京電力（株）福島第一原子力発電所事故を経て、電力の供給は様々な要素のバランスの上に成り立つべきであるといったベストミックスとしての電源構成の観点からも、核燃料サイクルの意義やその進め方について様々な議論がなされている。そこで、本セミナーでは、様々な観点から核燃料サイクルの着実な取り組みについて広く議論し、核燃料サイクル技術の発展に寄与することとしたい。

日 時 平成28年12月26日（月） 9：50～

場 所 東京工業大学 蔵前会館 くらまえホール

※地図、交通アクセスにつきましては、次のアドレスにてご確認ください。

<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

（東急大井町線、目黒線 大岡山駅前になります）

【プログラム】

1. 開会挨拶 9：50～10：00
藤田 玲子 部会長
2. 特別講演 10：00～11：00
『変容する核燃料サイクル』 滝 順一 氏
日本経済新聞社 編集委員
3. テーマⅠ：再処理・リサイクル部会 ワーキンググループ活動報告
『再処理施設において想定される事故の影響評価手法の現状と課題』 11：00～12：00
東京工業大学 先導原子力研究所 名誉教授 池田 泰久 氏

～ 昼 食 ～ 12：00～13：00

4. テーマⅡ：再処理関連技術の動向

『サイクル諸量の観点から見た日本の原子力シナリオ』 13：00～13：40

日本原子力研究開発機構 高速炉研究開発部門

次世代高速炉サイクル研究開発センター プロジェクト推進室 室長

小野 清 氏

『大学におけるバックエンド化学研究と施設管理』 13：40～14：20

東北大学 多元物質科学研究所 教授

佐藤 修彰 氏

5. ポスターセッション & Coffee Break 14：20～15：50

6. テーマⅢ：再処理関連の最先端技術の開発

『次世代再処理ガラス固化技術基盤研究』 15：50～16：50

① 低レベル放射性廃棄物の溶融ガラス化（仮）

（株）IHI 原子力セクター 原燃プロジェクト部 技術開発グループ 課長代理

鬼木 俊郎 氏

② 高レベル放射性廃棄物の高充填化（仮）

日本原燃（株）再処理事業部 エンジニアリングセンター 技術開発研究所 副長

駒嶺 哲 氏

7. ポスター賞表彰 16：50～17：00

8. 閉会挨拶 17：00～17：10

森田 泰治 副部会長

懇親会（ロイヤルブルーホール（蔵前会館内） 17：20～

参加費

原子力学会 正会員：5千円（不課税）、シルバー会員：3千円（不課税）、

非会員：1万円（税込）、学生：無料

※賛助会員団体のご所属であっても、ご本人が非会員の場合は非会員でお申込み下さい

懇親会参加費

原子力学会 正会員、シルバー会員、非会員：2千円（税込）、学生：無料

ご参加のお申込み

○以下の項目を明記し、E-mailでお申込み下さい。

①ご所属 ②ご芳名 ③正会員・シルバー会員・学生・非会員の別

④懇親会ご参加の有無 ⑤E-mailアドレス

○申込み先

日本原子力研究開発機構 岡村 信生 E-mail: okamura.nobuo@jaea.go.jp

○締切り 平成28年12月9日(金)

学生参加者への交通費補助について

○学生参加者へセミナー参加にかかる交通費(実費相当)を補助することができます。希望する方は、参加申込み時のE-mailにその事を記載してください。

○公共交通機関以外(自家用車など)を利用した場合は、旅費の補助はできません。

○補助人数は10名程度、補助額は1名あたり3万円を上限とします。人数及び補助額は、応募者数に応じて変更される可能性があります。また応募者多数の場合は、ポスター発表者を優先させていただきます。

○セミナー終了後、速やかに領収書等を提出して頂きます。

ポスター発表のご案内

当セミナーにおけるポスター発表を募集いたします。

○ポスター

サイズ A0サイズ(横90cm×縦180cm)まで・・・当日持込

対象分野 1. 核燃料サイクル研究、分離変換研究

2. 長期戦略/国際展開

3. ガラス固化技術研究

4. 地層処分、陸地保管研究

5. バックエンドに関する研究

6. 民間基準、学会基準作成の取り組み

7. ホット施設の運転・保守・補修技術

8. 人材育成/各大学の原子力教育取り組み

9. 住民、地元との対話活動/リスクコミュニケーション

10. 環境修復等

11. その他

○発表のお申し込み

以下の項目を記載したE-mailでお申し込み下さい。

①題目 ②概要 ③対象分野 ④代表者氏名・所属 ⑤共著者氏名・所属

⑥連絡先E-mailアドレス

○申込み先(事務局)

三菱マテリアル(株) エネルギー事業センタープラントエンジニアリング部

佐々木 良一 E-mail: ryou@mmc.co.jp

○締切り 平成28年12月9日（金）

○ポスター原稿のホームページ掲載について

ポスター原稿はセミナー終了後、部会ホームページに掲載させていただきます。

平成28年12月26日（月）までにポスター原稿を事務局へ送付下さい。

ファイル形式：PDF、MS-Word 又は PowerPoint

事前送付いただいた原稿を差し替える場合、また掲載をご承諾いただけない場合は、事務局まで連絡下さい。

※予稿は必要ありません。

○表彰について

一般及び学生による優秀な発表 数件に対して、それぞれ部会からの表彰を行います。

以上